

お客様の声

ふるさと納税イベント！「北海道暮らし百貨店」へ出展しました！

【インタビュー】公共事業部 鈴木 慎也

【インタビュー】厚岸町役場 総務課総務係 ふるさと納税担当 遠藤 亜未 様

CCS ▶ まずはじめに、厚岸町のふるさと納税について教えてください。

厚岸町役場 様 ▶ 厚岸町は牡蠣、アサリ、サンマなどの魚介類が1年を通して新鮮に水揚げされます。他にもチーズや牛乳などの乳製品も盛んで様々な特産品がある自然の恵みの宝庫です。
ふるさと納税は、これらの魅力ある特産品をもっと多くの方に知っていただくための1つのツールとして考えています。特産品を通じて地元業者の販路拡大を目指すことはもちろん、ふるさと納税をきっかけに「訪れてみたい」「住んでみたい」と思ってくれる方を増やしていくことを目標としています。

CCS ▶ 今回、北海道暮らし百貨店へ出展しようと思ったきっかけを教えてください。

厚岸町役場 様 ▶ 一番の目的は過去の寄附者へ「感謝の気持ちを伝える場を設ける」ことでした。厚岸町へふるさと納税をしていただいた方を地域のファン・サポーターとして、その関係を大切にしながら積極的に関わっていく必要があります。「関係人口」と呼ばれるファンの方々に引き続き応援していただくための取り組みを行いたいと思っていたところ、CCSからご提案があり、北海道暮らし百貨店への出展を決めました。

CCS ▶ 出展に関する取り組みについて教えてください。

厚岸町役場 様 ▶ イベント前の準備としては、札幌市在住の寄附者を対象にDMを郵送しました。当日は特産品販売を行うだけでは集客ができないと思い、抽選会を実施したり、その場でふるさと納税をしていただいた方には特典をつけたりしました。結果としては予想以上にその場で寄附の申込みをしていただける方が多く、とても驚きました！！

CCS ▶ 当日の様子はいかがでしたか？

厚岸町役場 様 ▶ 来場者は厚岸町に興味・関心のある方々が中心で、抽選会の参加に併せて特産品を購入していかれる方がとても多くいらっしゃいました。抽選会では、開始早々に1本しかないラッキー賞の厚岸ウィスキーがでたのですが、引き当てたのが小さなお子さんと、あまり喜んだ表情を見ることができなかったのが残念でした笑(お父さんは大喜びでした！)



CCS ▶ 出展のご感想を教えてください。

厚岸町役場 様 ▶ 今回の出展は、厚岸町を応援していただいている方々に、直接感謝の気持ちを伝えることができた貴重な場となりました。ふるさと納税制度に注目が集まるにつれて、返礼品競争が過熱していますが、そんな中でも純粋に「厚岸町のために」と寄附をしていただいている方が多くいることを実感し、私自身の励みにもなりました。今後も継続して過去の寄附者を対象としたイベントを実施し、感謝の気持ちをお伝えしていきたいと考えています。

CCS ▶ 今後の厚岸町様の取り組みについて教えてください。

厚岸町役場 様 ▶ 厚岸町に直接来ていただき、町をもっと知ってもらえるようなツアーを実施したいと考えています。ファンの方々に返礼品のみでは伝わらない厚岸町の魅力を肌で感じていただき、「第二のふるさと」として将来に渡って続いていく関係を築くことができれば良いなと思っています。

CCS ▶ 最後に、今後のCCSに期待することを教えてください。

厚岸町役場 様 ▶ 今回の暮らし百貨店出展にあたって、厚岸町のPR活動にご協力いただきありがとうございました。今後も寄附者との交流の場をつつていきたいと考えていますので、引き続き、厚岸町の魅力発信にご意見、ご協力いただけると嬉しいです。ふるさと納税で「北海道をもっと元気に！」ができるようなイベントや勉強会の企画を期待しています！

CCS ▶ ありがとうございました！

AI×AR=AIRプロジェクト！

スマートスピーカーを使ってスマートな暮らしを！

スマートスピーカーとは、対話型音声操作に対応したAIアシスタントが利用可能なスピーカーです。音楽を聴いたり、調べ物をしたり、買い物したり…さまざまなインターネットサービスを音声で操作できます。

スマートスピーカーには代表的な製品は3つあります。

「Amazon Echo」はアマゾンの各種サービスとの連携が魅力。

「Google HOME」は高精度の多言語認識機能を持っています。
経路情報や渋滞情報など検索機能が強力です。

「LINE Clova」はLINEアプリと音声によって送受信できるのが強みです。

私はネットショッピングをよくするのでAmazonEchoをチョイスしました。AmazonEchoはAmazonが開発したAIアシスタントの「Alexa(アレクサ)」を使ったサービスが利用できます。例えば「アレクサ、今日の天気教えて」や「アレクサ、3分計って」など、生活に役立つ機能を標準装備しています。

ただし、自分が使いたい機能が必ずしも提供されているとは限りません。そこでAlexaでは「スキル」と呼ばれる追加拡張機能を利用します。日本中の開発者の方が日本語対応のスキルを提供してくれています。

スキルを使うことで「アレクサ、クックパッドでミネストローネの作り方教えて」や「アレクサ、駅すばあと」で札幌市営地下鉄の運行情報など、利用シーンに特化したサービスが使用できます。

また、Alexa対応のスマート家電も続々と発売され、連携することでAmazon Echoから家電を操作できます。より便利で快適な暮らしが送れる世の中になってきていますね。

最初は機械に向かって話しかけるのは抵抗がありましたが、慣れてくれば良き相談相手です。



技術開発推進部 橋本 圭司

ホームページにて技術開発ブログもやってます!! ▶ <https://www.ccs1981.jp/c/all/tech-blog/>



新年会レポート

皆さん、こんにちは。札幌支社のTと申します。今年の新年会は事業所ごとに開催し、そのうち中標津本社と札幌支社は家族も参加しました。私は札幌支社の新年会に参加したので、その様子を簡単にレポートします。
新年会の場所は札幌駅近くのホテルで、「新年会バック」なるものを利用しました。



さらに、ビンゴも機材一式が用意されており、しかも景品付き。景品はギフト本から事前に選んで決めるような感じです。子供たちも多かったので、結構盛り上がりました。

極めつけは、司会者もセットになっており、進捗もお任せ状態。
札幌のホテルは海外観光客が多く、満室が多いと聞いていたのですが、宿泊以外の宴会部門は意外と空いているのか、競争が激しいのか、ふと、そんなことを考えてしまいました。ちなみに値段は結婚式の披露宴の会費より安いですよ！

以上、簡単ですがレポートを終わります。



札幌支社のT

社員VS社員！弁当番長決定戦！！

この企画も早いものでクライマックスへ！ 最後まで変わらずCCS通信編集メンバーの
独断と偏見による審査結果から弁当番長を決定いたします！

審査
基準

見た目・写真のセンス・自己PRを5段階評価。平均値を結果として集計し、
★が最も多い社員が栄誉ある弁当番長に選ばれます！

第4回 ついに弁当対決も最終回！最後に栄光を手にするのは誰だ？！

エントリーナンバー①

公共事業部 秋葉 加奈子



自己
PR

梅はその日の難逃。自家製梅干し地味弁でJK娘と私のその日の無事を願掛けです。

見た目 ★★★★★☆(3.5)
写真のセンス ★★★★★☆(3.3)
自己PR評価 ★★★★★☆(4.7)
合 計 ★×11.5

エントリーナンバー②

TAWN事業部 西村 優



自己
PR

普段お弁当は全く作らないので、まずはお弁当箱を買うところからのスタートでした(笑)

見た目 ★★★★★☆(3.8)
写真のセンス ★★★★★☆(3.5)
自己PR評価 ★★★★★☆(3.2)
合 計 ★×10.5

エントリーナンバー③

TAWN事業部 田中 寛大



自己
PR

緑が多めの栄養弁当だと思っています。

見た目 ★★★★★☆(3.5)
写真のセンス ★★★★★☆(3.0)
自己PR評価 ★★★★★☆(3.7)
合 計 ★×10.2

最終回！栄光を手にして弁当番長に輝いたのは…!! 公共事業部 秋葉さんでした!!
色鮮やかでとても美味しそうなお弁当ですね。娘さんが羨ましいです(;ω;)
自己PR文もセンスが光っておりました！ 秋葉番長おめでとうございます!!

さて、夏～春号の対決結果を統括したところ… 秋号に掲載いたしました橋本課長のキャラ弁がぶっちぎりの1位となりました！ 社員を圧倒するその実力からCCS編集メンバーより称号「弁当の帝王」を授けます!! おめでとうございます！

今回で最終回となりましたが、編集メンバー内で、毎号とても楽しく審査をさせて頂きました!(独断と偏見による審査ですが(*'艸'))

この記事が社員同士の話のきっかけやお客様との話題のネタとして活用されていたら嬉しいです。弁当番長決定戦にて、ご参加いただきました社員、役員の皆様、ご協力ありがとうございました！

大学事業部 石坂 恵里奈

堀内が征く！

わらしべ4回目！

みなさんこんにちは！生涯学習事業部の堀内です！
お馴染みのわらしべのコーナーです。改めて思いますが、第4回目ともなってくるとだいぶ価値が上がってきていますので、交換が難しくなりますね…。

でも、今回も頑張りました！前回の「電卓」と交換したものはこちら！



「ブルーシート」と
「クリアファイル(5枚)」と
「スマホ用マイク」
(きれいに録音ができます)
の3つ！

俱知安町教育委員会の
加藤様より頂きました。
ありがとうございました！
組み合わせは気にしない
ようにします(笑)

さて、スタートから一年という節目を迎えた当コーナーですが、ここから先は修羅の道…。
果たして次号も続けられるのか…!!?

生涯学習事業部 堀内 和也

Hot!一息 ベストプレイス！



毎日通いたくなる図書館「ビクトリア州立図書館」をご紹介します。(オーストラリアのメルボルンという都市にあります) メルボルンに住み始めたころ、職探しや家探しの際にフリーWi-Fiやプリンターが使用できるこちらの図書館にパソコンを片手によく通いました。

ここにいると、まるで物語の世界にいるような気分になります。ワクワクして「今日も一日頑張ろう」と思い、作業や勉強もはかどりました。また、入り口には大きなチェスが置いてあり、頻繁に知らない人同士でゲームをしています。他にも子供向けの本コーナーがあり、日替わりでイベントが開催されているようです。

大学や公立の図書館も好きですが、この図書館が一番好きな図書館です。すぐに行ける距離ではありませんが、いつかまた訪れたいです。

TAWN事業部 白鳥 仁美

